

氏名	ひろずみ とよかず 廣住 豊一	職名	准教授(博士(学術))
専門分野	農業土木学、土壌物理学、農地工学、花き園芸学		
所属学会	農業農村工学会、土壌物理学会、園芸学会、日本土壌肥料学会、畑地農業振興会、日本温泉科学会		
担当科目	環境情報学概論Ⅰ(分担)、環境情報学概論Ⅱ(分担)、基礎演習 a、基礎演習 b、専門演習 a、専門演習 b、専門演習 c、専門演習 d、キャリア基礎Ⅰ、キャリア基礎Ⅱ、キャリア基礎Ⅲ、地学概論、食糧生産学、食品衛生学、土壌学、環境実験・調査 a、環境実験・調査 b		
<b>I 教育活動</b>			
	教育実践上の主な業績	概	要
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）	<p>講義形式の授業では、学習内容をより定着させ、受講生を飽きさせず、能動的な作業をさせるため、授業時間内に確認テストや小レポートを課した。文章や計算を苦手とする学生のため、文章で説明させる問題や式を立てて計算する問題を中心に出题した。自らの考えをまとめさせる問題も出题した。提出された課題はすべて添削し、次の授業で返却した。</p> <p>基礎・専門演習では、実験や調査などの自らの頭と体を動かす活動を重視し、正規の授業時間以外にも活動できる時間を確保した。演習での活動は学年を問わず全員参加を基本とし、上級生が下級生を指導する体制を敷くことで、指導力や協調性などが養われるようにした。セミナーで実施した研究の成果は、論文としてまとめさせ、四日市大学論集に投稿させることで、科学的な文書を作成する力を身につけさせた。</p>		
2. 作成した教科書、教材、参考書	<p>担当する専門講義科目において、各回 A3 両面刷りの自作資料を作成および配布した。この資料は書き込み式で板書を無理なく書き取れるように工夫した。すべての資料を集めて製本することで 60 ページの冊子として読み返すことができるようにした。この冊子を確認することで、各授業科目に関する基本的な内容を復習できるような教材を目指し、改善を重ねている。</p>		
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	特になし。		
4. その他教育活動上特記すべき事項	<p>次の模擬講義や進路ガイダンス等高校生に対する教育活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オープンキャンパス模擬講義「フルーツや野菜をはかる～果実中の糖度・酸度分析」(2019年5月12日)</li> <li>● オープンキャンパス・模擬講義・廣住豊一「土壌の緩衝作用を実験で確かめよう！」(2019年8月24日)</li> <li>● 愛知県立惟信高等学校進路ガイダンス「農学・生物学・畜産学のちがひ」(2019年11月14日)</li> <li>● 三重県立いなべ総合学園高等学校高大連携事業「化学実験で確かめる 環境問題に対する土のはたらき」(2019年11月20日)</li> <li>● 三重県立四日市西高等学校進路ガイダンス「模擬講義」「キミにもできる！土壌調査に挑戦！！」(2019年12月13日)</li> <li>● 四日市農芸高等学校プロジェクト研究指導(2019年12月24日)</li> <li>● 四日市農芸高等学校プロジェクト研究指導(2019年1月7日)</li> <li>● 三重県立久居農林高等学校出前授業(2019年1月30日)</li> <li>● 三重県立久居農林高等学校出前授業(2019年2月12日)</li> </ul>		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著のみ記入)	該当頁数
<b>著書</b>					
改訂 6 版農業農村工学標準用語事典「19. 情報・通信」	共著	2019 年 8 月	公益社団法人農業農村工学会	改訂 6 版農業農村工学標準用語事典編集委員会	112-115 頁
<b>論文</b>					
三重県四日市市における放射線教育アウトリーチ活動の展開	共著	2019 年 11 月	「水土の知第 87 巻第 11 号」農業農村工学会	廣住豊一、神長唯、徳本家康、西脇淳子、坂井勝、加藤千尋、渡辺晋生、溝口勝	31-34 頁
放射線教育のための子供向けデジタル絵本アプリケーション	共著	2020 年 1 月	「水土の知第 88 巻第 1 号」農業農村工学会	廣住豊一、徳本家康、坂井勝、西脇淳子、加藤千尋、渡辺晋生、塩澤仁行、溝口勝	19-22 頁
中干し期の暗渠排水による水田土壌カラム中の水溶性成分変化	共著	2020 年 9 月	「四日市大学論集第 33 巻第 1 号」四日市大学学会	長尾湊、廣住豊一、大八木麻希	151-163 頁
<b>学会発表</b>					
発表（報告）名等	単独 共同	発表の年月	学会名等		
竹林間伐材に由来する粉末資材の施与が水田土壌環境に与える影響	共同	2019 年 9 月	2019 年度農業農村工学会大会講演会（東京都） 共同研究者：廣住豊一、鈴木悠一郎、伊藤寿信、近藤海斗、永井雄大、坂井勝		
窒素およびカルシウムの追加施用がトルコギキョウ・ピッコローサスノーの花柄強度に与える影響	単独	2020 年 3 月	園芸学会令和 2 年度春季大会（東京都） ※新型コロナウイルス感染症拡大のため大会は中止（ただし学会の方針として研究発表は行われたものとして取り扱われる）		
小型模型水田を用いた緩効性プラスチック被覆肥料の流出量および残留量の予備調査	共同	2020 年 8 月	2020 年度農業農村工学会大会講演会（オンライン） 共同研究者：小川海都、廣住豊一、千葉賢、大八木麻希		
竹粉資材を施与した三重県四日市市堂ヶ山町水田における 2 か年の土壌環境変化	共同	2020 年 8 月	2020 年度農業農村工学会大会講演会（オンライン） 共同研究者：小川海都・横井亮太・廣住豊一		
トルコギキョウに対する根域冷却効果を検証するための実験装置の試作	共同	2021 年 3 月	園芸学会令和 2 年度春季大会（オンライン） 共同研究者：廣住豊一・伊藤裕香		

外部資金		
資金名	助成期間	課題名等
四日市大学特定プロジェクト研究	2019年4月～ 2021年3月	伊勢湾流域圏のマイクロプラスチック問題の把握と対策
四日市大学特定プロジェクト研究	2020年7月～	北勢地域における森林価値再発掘と里山圏資源循環モデルの構築
<b>Ⅲ 社会における主な活動</b>		
学会活動		
2019年5月	京都支部代議員候補者選考委員会(一般社団法人農業農村工学会)	
2020年3月	令和2年度春季大会「花卉Ⅱ」「栽培・作型Ⅱ」座長(園芸学会) ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	
2020年4月～現在に至る	評議員(土壤肥料学会中部支部)	
2021年3月	令和3年度春季大会「花卉Ⅰ」「育種・品種特性Ⅱ・栽培・作型」座長(園芸学会)	
2021年4月～現在に至る	庶務幹事(園芸学会東海支部会)	
2021年4月～現在に至る	庶務幹事(土壤物理学会)	
講演等		
2019年6月	観察実験講座「環境に対する土の働き」講師(三重ジュニアドクター育成塾)	
2019年8月	夏のエコフェア 2019	
2019年12月	四日市市環境フェア出展	